

町会報

えひめ

2014

3

Vol.60

発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会
〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2
TEL089-941-7598(代表)
FAX089-945-1318



陸上につながるホースを通じて常時酸素が送られてくるので、普段と同じ呼吸で海中散歩を楽しめます。

愛南町 鹿島「シーウォーカー」

Contents

県市町振興協会理事会・評議員会	2~3
随想 瀧野志久万高原町議会議長	4
県町村監査委員協議会第14回定期総会	5
四国地区町村議会議長会会長会	5
町の伝統行事	6~7
一筆	8
3月の行事	8
編集後記	8

四国で体験できるのは愛南町だけ！

シーウォーカーは、専用のヘルメットを被るだけで誰でも夢の海中散歩を楽しむことができます。

泳げない人でも大丈夫。また資格や難しいトレーニングも全部不要で、お化粧をしたまま、眼鏡をかけたままでも体験できます。海中には専門のインストラクターが随行してくれるので、子どもからお年寄りまで安心、安全に体験することができるのも魅力の一つです。

さあ、この夏、愛南町鹿島の美しい珊瑚の群生やたくさんの熱帯魚の景色をバックに記念撮影してみませんか？ 忘れられない思い出になること、間違いなしです。

平成26年度事業計画・予算を決定

県市町振興協会 理事会・評議員会

【第2回定例理事会】

公益財団法人愛媛県市町振興協会（理事長・白石勝也松前町長）は、平成25年度第2回定例理事会を2月28日（金）午前10時30分から「愛媛県自治会館」において開催した。

会議の出席は、白石勝也・菅良二（今治市長）・寺井克之（松山市議長）・土居計彦（上島町議会議長）・松浦一悦（松山大学経済学部教授）・



理 事 会

渡部明忠（愛媛県町村会事務局長）の各理事及び信夫秀紀（愛媛県市町振興課長）・矢野巧（愛媛県市長会事務局長）・酒井啓司（税理士）の各監事、田窪出納役等。

白石理事長から招集あいさつの後、議長には定款により白石理事長が充たり、事務局から議案説明及び報告が行われ、いずれも議決及び了承された。

また、愛媛県市町連携事業助成事業へ助成要望のあった「坊っちゃん劇場子ども芸術体験サポートシステム後援会への助成について」及び「公益財団法人愛媛の森林基金への助成について」を協議し、平成26年度も助成することを了承し、助成額は補正予算の対応とした。

なお、提出された議案及び報告は次のとおり。

◆議事

第1号議案

平成26年度事業計画について

第2号議案

平成26年度収支予算について

第3号議案

公益財団法人愛媛県市町振興協会財務事務処理規程の一部改正について

いて

第4号議案

平成25年度第3回評議員会の開催について

◆報告

第1号報告

職務執行状況について

◆その他

愛媛県市町連携事業助成事業について

【第3回臨時評議員会】

公益財団法人愛媛県市町振興協会（理事長・白石勝也松前町長）は、平成25年度第3回臨時評議員会を3月



評 議 員 会

25日（火）午前11時から「愛媛県自治会館」において開催した。

会議の出席は、白石理事長・清水裕（大洲市長）・浅野忠昭（西予市議会議長）・上村俊之（上島町長）・瀧野志（久万高原町議会議長）・安田俊一（松山大学経済学部教授）・柏原準（愛媛県町村議会議長会次長）の各評議員及び信夫秀紀（愛媛県市町振興課長）・矢野巧（愛媛県市長会事務局長）の各監事、渡部常務理事等。

白石理事長から招集あいさつの後、議長には定款により瀧野評議員を議長に選出し、議事録署名人に清水裕・柏原準の両評議員を指名。

議長は、議案審議に入り、事務局から議案説明が行われ、いずれも承認を得た。

なお、提出された議案及び報告は次のとおり。

◆議事

第1号議案

平成26年度事業計画の承認について

第2号議案

平成26年度収支予算の承認について

◆報告

第1号報告

公益財団法人愛媛県市町振興協会財務事務処理規程の一部改正について

平成26年度事業のあらまし

～ 市町村振興宝くじの収益金等を活用し、愛媛県内20市町の振興に寄与 ～

公益財団法人愛媛県市町振興協会

当協会は、市町財政の厳しい環境に配慮し、的確な財政運営を実施していくとともに、市町の公共施設整備事業等への資金融資、市町振興事業に対する助成及び人材育成のための研修等、次に掲げる事業を行います。なお、市町村振興宝くじ販売促進事業については、関係団体の協力を得ながら行う。

事業名	事 業 内 容
資金貸付事業	(1) 長期貸付事業 貸付予定枠 22億円 貸付対象事業 愛媛県知事と協議し同意又は許可を受け、あるいは届出をしている平成25年度一般単独事業（一般事業及び合併特例事業等）とする。ただし、土木施設（排水施設を除く。）整備事業については、原則として対象としないものとする。 貸付条件 貸付利率 年3%（原則年3%であるが、本協会基金等貸付細則附則第2条の規定の特例として、政府資金の貸付金利を基準とし、政府資金の貸付利息以下の率で理事長が定める貸付利率とする。） 償還方法 半年賦元金均等償還 償還日 9月17日及び3月17日 償還期間及び据置期間 12年以内うち据置期間2年以内 (2) 短期貸付事業 貸付対象事業 当該年度内に行う必要がある緊急的な公共事業や災害防止対策事業 貸付条件 貸付利率 年3%（原則年3%であるが、本協会基金等貸付細則附則第2条の規定の特例として、政府資金の貸付金利を基準とし、政府資金の貸付利息以下の率で理事長が定める貸付利率とする。） 償還方法 一括償還証書貸付 貸付期間 単年度貸付（年度内償還）
交付金の交付事業	(1) 市町交付金 予算額 257,987千円 平成25年度オータムジャンボ宝くじ収益金を愛媛県が協会に交付する愛媛県交付金を財源として市町へ交付する。 (2) 基金交付金 予算額 263,159千円 サマージャンボ宝くじ収益金をもって愛媛県が協会に交付する愛媛県交付金を積み立てる基金積立金の財源及び前年度収益金の10%相当額を合わせて市町へ交付する。 ----- 交付金の対象事業は、地方財政法第32条に規定する事業で、交付を受けた市町は、市町が必要とする当該事業に充当する。
成事業 市町振興助	(1) 市町連携事業助成事業 (2) 市町の振興に伴うイベント等助成事業 (3) 情報セキュリティ監査助成事業 (4) メンタルヘルス対策事業助成金 (5) 災害見舞金
研修事業 市町職員等	(1) 愛媛県研修所での研修事業 (2) 市町職員外国語研修事業 (3) 公会計改革研究事業 (4) 市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）及び全国市町村国際文化研修所（国際文化アカデミー）の受講に係る助成 (5) 関係団体研修事業等に係る助成
事業 情報提供	(1) 愛媛県市町要覧の発行 (2) 市町振興のための資料配付 「地方財政要覧」、「市町財政」等 (3) 地域づくり情報誌発行事業 「舞たうん」、「えひめイベントBOX」
その他	市町関係団体等への助成（愛媛県市長会・愛媛県町村会を經由） ① 一般財団法人地域活性化センター年会費 ② 日本貿易振興機構（ジェトロ）愛媛貿易センター運営負担金 ③ 松山空港利用促進協議会負担金

◎ 平成26年度市町村振興宝くじ発売概要

	サマージャンボ宝くじ	オータムジャンボ宝くじ
発 売 期 間	7月4日(金)～7月25日(金)	9月19日(金)～10月10日(金)
抽 選 日	8月5日(火)	10月17日(金)
発 売 額	1,050億円(前年度同額)	390億円(前年度同額)



随想



久万高原町議会議長

瀧野 志

◆はじめに

昨年4月に町議会議員選挙があり、14人の議員のうち、経験のない方も7人当選されました。平成21年以来2度目の議長就任であります。議会と町民との距離が遠のいているように感じ、昨年10月から11月にかけて、町内7会場で初めての議会報告会を開催いたしました。報告の仕方や議員の発言などに工夫した運営方法が、今後の課題として浮かん

できましたが、反省すべきは反省し、「わかりにくかったが、町民へ説明しようとする姿勢は良かった」という言葉を励みに、つぎの報告会につなげていきたいと思っています。

また、町村議会議員は普通の仕事をしながら議員活動を並立しているために大変厳しかったわけですが、本年6月から、「町民と行政とのパイプ役」の一つとして、全て議員の手づくりによります議会広報「久万高原町議会だより」を年4回発刊することになりました。今後におきましても議会の活性化に向け議会改革特別委員会の中で議論していきたいと考えています。

◆状況

本年4月には防災センターを併設した道の駅「天空の郷 さんさん」がオープンいたしました。

本町には2種兼業農家が多く、その方たちの作る農産物が、「道の駅」を通じて少しでも収入に結び付けば、これ以上にうれしいことはありません。年金生活者の多くは、年金から介護保険料など必要経費を差し引くと手元にはわずかしこのくらいという厳しい現実があります。高齢者にとっては、たくわえわずか

も年金以外の収入があれば、生活の糧にもなるし活力にもなります。そういった意味では待望の施設ではあると思いますが、経営という視点から見るとそう簡単ではないと思われるます。

し、町村合併による普通交付税の優遇措置（合併特例）が今年度終了する厳しい状況を迎えています。特に将来を託す子どもたちの教育や、長年にわたって地域や家族のためにがんばってこられた高齢者の福祉・介護・医療の問題、将来おこりうるとされる東海、南海、東南海地震などの防災問題、また、基幹産業である農林業や商工業・観光業課題に向け、町民の福祉の向上を念頭に議員一丸となって安心安全の住みよい町づくりに努めていきたいと思

◆これから

本町は、平成16年8月1日に合併



▶道の駅「天空の郷 さんさん」

久万高原町議会の基礎データ

町村概要	国調人口 (H22)	9,644 人
	住基人口 (H26.3.31)	9,440 人
	面積	583.7km ²
	一般会計予算 (H26)	8,619,125 千円
	うち議会予算	87,019 千円
議会概要	産業形態	第1次産業 26.4% 第2次産業 15.1% 第3次産業 56.2%
	議員定数 (条例)	14 人
	常任委員会名・人数 (条例)	総務文教厚生常任委員会 7人 産業建設常任委員会 7人
	議会運営委員会人数 (条例)	7 人
	特別委員会名・人数 (条例)	議会議員の定数等に関する特別委員会 7人 議会会報特別委員会 7人 議会改革特別委員会 7人
	議会事務局職員数 (条例)	4 人

第14回定期総会を開く

県町村監査委員協議会

県町村監査委員協議会第14回定期総会は、3月24日県水産会館で、県下町監査委員及び補助職員ら24人が出席して開催された。

総会は、渡部事務局長の司会で進められ、片岡副会長（内子町代表監査委員）の開会のことばに続いて、上甲会長（鬼北町代表監査委員）があいさつを述べた。

続いて表彰に入り、堀口松野町代表監査委員に表彰状及び記念品を贈呈。

次いで、来賓の知事（石丸総務部管理局长代理出席）、白石県町村会長



第14回定期総会次第

- 1 開会のことば
- 2 会長あいさつ
- 3 表 彰
- 4 来賓祝辞（知事、県町村会長、県町村議会議長会長）
- 5 議 事
 - (1) 報告第1号 会務報告
 - (2) 認定第1号 平成24年度決算について
 - (3) 議案第1号 平成26年度事業計画について
 - (4) 議案第2号 平成26年度歳入歳出予算について
 - (5) 議案第3号 任期満了に伴う役員改選について
 - (6) 議案第4号 決 議
- 6 閉会のことば

決 議

監査委員は、地方自治体の必置機関として置かれ、定期監査・例月出納検査はもとより、住民監査請求や財政健全化審査に対応するため、日々研鑽に励み、違法、不当の指摘にとどまらず、指導・予防に重点を置いた監査の実施に努め、今まで以上に行政に対する住民の期待と信頼の増進に役立てなければならない。

しかしながら、町における監査体制は、監査委員に課せられた義務と責任を果たすには程遠い現状にあり、研修や事務局体制の充実をはじめ、監査活動費の確保や監査委員報酬の適正化など監査機能の充実強化が喫緊の課題である。

よって、本日ここに、愛媛県町村監査委員協議会第14回定期総会を開催するに当たり、われわれ監査委員は、その果たすべき役割に深く思いを致し、決意を新たに公平、不偏の原則のもとに監査機能の充実と監査体制の強化に向け、組織を挙げてまい進することを表明する。

以上、決議する。

平成26年 3 月24日

愛媛県町村監査委員協議会
第 14 回 定 期 総 会

及び関本県町村議会議長会長から祝辞が述べられた。

次いで議事に入り、上甲会長が議長となつて会議録書名人に白石松前町代表監査委員と小島愛南町代表監査委員を指名したあと、次のとおり議事が進められた。

- (1) 報告第1号 会務報告
一同了承。
- (2) 認定第1号 平成24年度決算
事務局から説明があり、一同了承。
- (3) 議案第1号 平成26年度事業計画
一同了承。
- (4) 議案第2号 平成26年度歳入歳出

出予算

以上の2議案を一括議題とし、事務局から順次説明。一同異議なく議決された。

- (5) 議案第3号 任期満了に伴う役員改選

本年3月31日に現役員が任期満了になることから、新役員の選挙が行われ、次のとおり選出した。

会 長 片岡 安男（内子町）
副会長 小島敬一郎（愛南町）
監 事 金本 鎮雄（上島町）
同 堀口 計敬（松野町）

- (6) 議案第4号 決議
片岡副会長が別掲の決議を朗読し満場の拍手でこれを採択。

最後に同副会長が閉会のことばを述べて総会の幕を閉じた。

四国地区町村議会議長会

会長会を開催

3 / 27 徳島県勝浦町で

第170回四国地区町村議会議長会会長会が、3月27日徳島県勝浦町で、四国4県の会長及び事務局長らが出席して開催された。

会議はまず、地元徳島県の大西会長、次いで四国地区会長の関本県会長のあいさつに始まり、規約の定めにより大西徳島県会長が議長席に着いて、「議事」に入った。

まず、会議録署名人に次期開催県の関本県会長を指名した後、次のとおり議事が進められた。

議 事

- 1 平成26年度各県事業計画及び予算について
各県事務局長から、資料に基づき説明があり、意見交換を行った。
- 2 各県提出議題について
① 第55回四国地区町村議会議長会研修会について（高知県）
② 四国四県町村長・議長大会について（徳島県）
以上の2題について各県局長から問題提起があり、各県ごとに状況説明し、意見交換を行った。
- 3 次期四国地区会長の選任について
村田高知県会長が会長に選出された。任期は4月1日から1年間。
- 4 次期四国地区会長会の開催について
次回は愛媛県で開催することを決定した。

町の伝統行事

川瀬歌舞伎

- 場所／演技できる施設のある場所等（久万高原町直瀬地区で活動）
- 実施時期／不定期で公演。依頼等により上演することもある。

【概要】

川瀬歌舞伎は、現在、県内で唯一残る農村歌舞伎であり、県の無形民俗文化財に指定されています。



明治期ごろから農閑期の娯楽として始まり、昭和36年、「川瀬歌舞伎保存会」が結成され、現在に至っています。

現在の会員は、20歳代～80歳代に至る老若男女16人が在籍し、主に三つの演題を演じています。

公演は、地元公民館まつり、町文化協会発表会ほか町外においても依頼により行っていますが、不定期です。平成26年度については町文化協会発表会で公演予定です。

「石鎚山」お山開き

- 場所／久万高原町（土小屋付近）
- 実施時期／7月1日から7月10日

【概要】

「石鎚山」は日本七霊山の一つに数えられ、今から1300年ほど前に、役小角（えんのおづめ）が修験場として開山したとされる、石鎚連峰の中核を成す山です。頂上に至る登山道は、鎖のかかる断崖となっていますが、毎年7月1日から10日間開催される「石鎚山お山開き大祭」には、全国各地から多くの参拝者などが集まり賑わいます。

この大祭は「石鎚神社頂上社」を中心に「中宮成就社」「土小屋遙拝殿」「口之宮本社」の四社において執り行われており、「仁」「智」「勇」の順に、3体のご神像を白装束の氏子らが担いで険しい山道を登ります。そして、山頂の「頂上社」に到着すると「ご神像拝戴」と呼ばれる神事を行い、1年間の無病息災を祈願します。

なお、石鎚山の女人禁制は、時代の趨勢により、現在は7月1日のみとなっています。



内 子 町



燈籠まつり

【概要】

●場所／小田中央商店街
●実施時期／7月26日(土)
(雨天 27日(日))

平家の落人伝説にちなむ先祖供養の夏祭り。登貴姫を載せた牛車、口グ風の山車、絵灯籠、稚児行列、太鼓台、踊り連などが商店街を練り歩きます。小田川に千個を超す燈籠を

流し、清盛寺住職による供養の読経が流れます。



松 前 町



はんぎり競漕 (まさき町夏祭り)

【概要】

●場所／塩屋海岸
●実施時期／毎年8月第1土曜日

まさき町夏祭りのイベントの一つとして「はんぎり競漕」を塩屋海岸の沖合いで開催しています。はんぎり競漕は、文禄年間に漁夫が、伝馬船代わりに「はんぎり」という木のたらいを使って、競って沖を漕ぎ渡ったことが由来とされています。古くから守り継がれてきた松前の海の伝統行事で、海



上に大きな桶を浮かべ前後に漕いで速さを競い合う全国的にも珍しい競技です。

大きな桶を巧みに乗りこなし、勇ましく漕ぎ進む児童の姿は、松前町の夏の風物詩となっています。児童のほかにも一般の部の参加もあり、多くの人の歓声を集めています。



危機意識を

この間まで例年になく寒さ、降雪の気象が列島を包んでいたが、月日は早く、如月は駆け抜けるように逃げ、弥生3月は素早く「去る」、明日は4月1日である。

このところ毎日、庭先で早朝から『ホウー ホケキョウ』驚が絶え間なく鳴く。近くの公園の桜は、開花から見る見るうちに広がり満開に近い。日中は春の暖かさより一気に初夏のような陽気になる。何れは異常気象の一端で寒さが戻るに違いない。

この3月、あの3・11から3年経った。死者15,884人、行方不明者2,633人。避難生活者は約27万人。未だ筆舌に尽くし難い心痛を抱えたままの何十万の方々。しかし震災の完全復興の姿は、未だに確たるものが見えてこない。被災者の気持ちはどのような想いであろう。東日本の復興なくして日本の再生はないはず、歯がゆい気持ちに拭き拭かれるのは何時か、これは皆のいつわらざる心うちでもある。

さて、『3月中旬に南海トラフ巨大地震が起くる!』と言う話が、この3月、世間・巷で真のように流れた。これは一部地方だけの噂であったのか?その中で3月16日伊予灘震源とするM6.2震度5強が発生した。流言飛語まがいの声は別として、地震

活動期に入ったとされる列島。地震予知は不可能である以上、発生確率が高いことは意識しなければならぬ。また、それなりの対応策を急ぎ立てなければならぬことは言わずもがなである。

政府は先日、南海トラフ巨大地震対策の基本方針「防災対策推進基本計画」を決めた。この計画では津波対策、建物の耐震化によって、最悪の死者数約33万人を今後10年間で8割減らす。また全壊、消失建物を半減させるとある。本県の場合、津波被害が心配される伊方町、愛南町、西予市、宇和島市、八幡浜市の5市町は、「津波避難対策特別強化地域」に指定、国の補助が拡充されることになった。

本県の被害想定では、死者約1万6千人、建物全壊24万4千棟、避難所利用28万人、交通関係は寸断、本四架橋は不通、四国全体が孤立。電気は9割が停電、120万人は断水対象になる。県では道路対策として復旧計画を策定、支援受け入れの「広域防災拠点」を17箇所選定した。

南海トラフ巨大地震による被害総額約220兆円が想定されているが、是非その何分の一でも財源を前倒しして、津波対策、公共・個人を問わず耐震化等を計画でなく即実現願いたい。一方、公助に頼らない危機に對する「防災と自助」の意識高揚を計らねばならない。時は今である。

「こんなに美しく可憐な花に、
風は荒々しく吹きつける事が
出来るだろうか」

(ジョン・フレッチャー)

英国の詩人

3月の会と催し

- ▽1日 民主党愛媛県連2014年定期大会
- ▽2日 平成26年大洲市消防出初式
- ▽6日 (公財)愛媛県市町村振興協会長期貸付申し込み受付、都道府県町村会政務担当職員研修会(7日まで、自由民主党道州制推進本部役員との意見交換)
- ▽8日 愛媛県地域医療支援センター第2階運営委員会
- ▽10日 愛媛県農業信用基金協会平成25年度第4回理事会
- ▽12日 ダム所在・発電関係市町村振興事業推進等研究会、全国山村振興事業推進等研究会、水道事業推進等研究会並びに担当職員意見交換会
- ▽13日 全国市町村振興協会評議員会、四国圏広域地方計画協議会担当課長等会議
- ▽14日 愛媛県林業労働力育成協議会、(公財)えひめ農林漁業担い手育成公社
- ▽16日 平成26年西条市消防観閲式
- ▽17日 愛媛県過疎地域自立促進協議会定期総会、愛媛県人権協会定期総会、平成25年度市町村職員研修会
- ▽18日 (一財)地域活性化センター評議員会議案の説明会
- ▽19日 内外情勢調査会松山支部懇談会
- ▽20日 都道府県市町村振興協会事務局長会議、均等割分の「都道府県別市町村数」の取扱いに係る意見交換会、ごみ処理に関する現地研修会
- ▽24日 第3回農地制度のあり方に関するプロジェクトチームワーキンググループ会合、愛媛県庁村監査委員協議会監査、同上第14回定期総会、第72回国民体育大会愛媛県準備委員会第10回常任委員会、えひめ6次産業化連絡会議
- ▽25日 (公財)愛媛県市町村振興協会平成25年度第3回臨時評議員会、第17回全国障害者スポーツ大会愛媛県準備委員会第4回会議、愛媛県清掃事業協会事業推進等研究会、全国市町村水産業振興対策協議会、愛媛県支部事業推進等研究会
- ▽26日 全国町村下水道推進協議会、愛媛県支部事業推進等研究会、愛媛県市町村各種事業総合協議会定期総会、えひめ愛フード推進機構平成25年度第4回幹事会、愛媛県医療審議会
- ▽27日 第170回四国地区町村議会議長会会長会、四国4県町村議会議長会事務局長並びに担当者会、愛媛県防災会議
- ▽28日 中央教育審議会総会(第90回)、愛媛県農業会議第99回通常総会
- ▽29日 自民党県連定期大会
- ▽31日 (公社)愛媛県畜産協会臨時総会

編集後記

3・11のある新聞から。作家の吉行淳之介さんは、数字の(3)から受ける印象として「待っている。8になるのをね」と語っていたそうです。家族や大切な人、また故郷を奪われ、おのが半身を引き裂かれた8が昔の姿に戻るのを待っている。あの震災から3年を迎え、被災者それぞれの「欠落」の痛みが今も語られています。切ないですね。

こうした声に私たちは耳をすませて、記憶の風化に立ち向かいます。

◇「会うは別れの始め」。年度末を迎え多くの人たちに異動があったことでしょう。

「さようなら」は、「左様ならば」。そういうことであるならば、本当は別れたくないけれど、どうしてもそうならなければいけないのならば由來だそうです。

皆さん、また会う日までお元気で。「別れは出会いの始まり」です。